

記事掲載：2022年9月

翻訳：2022年9月

ECW は危機的状況にある 2,000 万人の子どもたちを支援するため 15 億ドルの緊急資金を求めます



「ECW の "投資事例 (Case for Investment) "は、人類への投資といえるでしょう。緊急事態や長引く危機の中でかろうじて生き延びているすべての子どもや若者のために、SDGs と普遍的な人権を達成するための私たち全員の切なる願いです。」 - ヤスミン・シェリフ、ECW 事務局長

ECW は、世界のリーダーたちに向けて、15 億ドルの緊急資金提供を呼びかけました。

この緊急資金は、緊急事態や長期化する危機における教育のための国連の世界基金である ECW とその戦略的パートナーが、今後 4 年間で危機の影響を受けた 2 千万人の子どもや青年に教育を提供するために必要な資金です。

ECW の新たな「投資事例([Case for Investment](#))」と「2023-2026 年戦略計画([2023-2026 Strategic Plan](#))」は、確固たる、かつ新たな野心的な目標を設定しています。ECW は 2016 年の発足以来、教育に特化した国際基金として、10 億米ドル以上を投資して約 700 万人の子どもと若者を直接支援してきました。加えて、新型コロナウイルス感染症の対応で 3,120 万人を支援してきました。

ECW の最近の分析によると、危機的な影響を受けている [2 億 2,200 万人](#) の少女と少年たちが、緊急の教育支援を必要としています。このうち 7,800 万人以上の子どもたちがまったく学校に通えず、約 1 億 2,000 万人が読み書きや算数などの最低限の能力を身に付けられていません。

「ECW の“投資事例([Case for Investment](#))”は、人類に対する投資であり、最も取り残された 2 億 2,200 万人の子どもと若者たちに焦点を当てています。緊急事態や長引く危機の中で生き延びているすべての子どもや若者のために、SDGs と普遍的な人権を達成するための、私たち全員の切なる願いです。子どもたちは、潜在能力を伸ばし、夢を実現するために、質の高い教育を受ける権利を持っています。この投資事例は、子どもたちの正当な権利主張を示したものとみえるでしょう」と、ECW の事務局長であるヤスミン・シエリフは話します。

2023 年 2 月にジュネーブで開催される、ECW のハイレベル資金調達会議に向け、世界のリーダー、ドナー、その他の子どもや教育に携わる組織や団体が、ECW のグローバルキャンペーンである [#222MillionDreams](#) に参加しています。

「緊急時の教育は極めて重要であり、そのニーズは高まっているにも関わらず、慢性的な資金不足です。そのため、スイスは ECW とパートナーシップを結んでいます。#222MillionDreams キャンペーンを支援し、ドイツ、ニジェール、ノルウェー、南スーダンと共にジュネーブでハイレベル教育資金調達会議を共同開催することを誇りに思っています」とイグナツィオ・カシス・スイス連邦大統領は述べています。

資金ギャップに立ち向かう

近年、緊急事態における教育への資金援助の要請が急増しています。ECW の [年次成果報告書](#) の分析によると、ウクライナにおける戦争、強制移住の急増、サヘルや東アフリカでの大規模な食糧不足、その他の危機により、緊急事態における教育資金の要請は、前年の 14 億米ドルから 2021 年には 29 億米ドルに達しました。

一部のリーダーたちは緊急時の教育への資金確保に力を注いでいますが、未だ大きな資金ギャップが残っています。現在、緊急時の教育への資金拠出は、世界の人道支援に対する資金拠出のたった 2~4%にすぎませ

ん。2021年には教育への資金要請が過去最高の6億4,500万米ドルとなったものの、全体の資金ギャップは2020年の60%から2021年には77%と、17%急増しました。

教育への投資が生むリターン

「私たちは、教育への投資が莫大な投資対効果を生むことを知っています。女子教育に1米ドル投資するごとに、2.8米ドルのリターンがあります。また、教育への投資は、平和、安定、繁栄への投資でもあるのです。経済力を高め、飢えと貧困を終わらせるための投資なのです。まさに教育は、未来への投資なのです」と、ECWのアシア・ハーバート執行委員長は語ります。

ECWの第一次緊急対応準備金（FER：緊急事態発生後、子どもたちが再び教育を受けられるようにするための支援）は、6～12カ月間にわたって、継続的に教育、保護、心理社会的支援、教員への支援、安全な学習環境を提供します。

複数年レジリエンスプログラム(MYRP)を通じて提供される3年間の投資は、教育への継続的なアクセス、保護と心理社会的サービス、教員へのトレーニング、学校給食、学習成果の改善といった幅広いサービスを提供します。さらに、ジェンダー平等、災害リスクの管理、学校運営のサポート、難民が国の教育制度に組み込まれること、人材の確保、システム強化なども支援します。

ECWの新しい“投資事例”は、「危機の影響を受けたすべての子どもと若者たちが、無償で、安全に、安心して学べる世界をつくる」という価値提案（バリュー・プロポジション）を示しています。気候危機への対応、民間セクターの参加、ジェンダー平等、政治的な支援の活性化、最も取り残された人々に届く柔軟で効果の高い介入策の強化といった、基金の取り組みを詳しく説明しています。

行動を変革し、より早く成果を得る

子どもたちをただ学校に入れるだけでは十分ではありません。ECWの新しい「戦略計画 2023-2026（Achieving Results: A New Way of Working）」では、学習の質に焦点を当てています。

ECWは、今後4年間で2,000万人の子どもたちに、学習だけでなく、社会的、情緒的、身体的健康を支援するための介入策を直接提供することを計画しています。またECWは、世界的な呼びかけ人、提唱者として、そのネットワーク、研究、アドボカシーを活用し、緊急下の教育への対応を変革し、SDG（持続可能な開発目標）4で結果を出していきます。

ECW はまた、緊急事態や長期化する危機における教育セクターへの世界的な資金の流れを追跡する、初の「資金モニタリング(Financing Observatory)」を立ち上げる予定です。この資金モニタリングを通じて、政府や市民社会は、世界で最も弱い立場にある子どもたちにより良い支援を提供できるよう、透明で質の高いデータにアクセスすることができるようになります。

変革をおこしたい人は、[#222MillionDreams](#) のハッシュタグを使って世界のリーダーたちに行動を呼びかけ、ECW に[個人で寄付](#)をすることができます。

【翻訳前の記事（英語）】

<https://www.educationcannotwait.org/news-stories/press-releases/case4investment>

